



社会福祉法人

香川いのちの電話

通
信

第63号

相談電話

みみをかたむけなやみゼロ

087-833-7830

FAX相談

むつんでいちばんしみじみ

087-861-4343

(24時間年中無休)



せとしるべ(赤灯台)から高松市街をみる 写真提供 宮武則明

いのちの電話に思う

四国学院大学教授

村上 武志

いのちの電話は、自殺予防の活動をする団体として知られています。しかし、この活動が、死を考えている人たちだけのものかという、そうではないように思うのです。なぜなら、人はあるとき突然、死を思いつくものではありません。あれこれと悩み、思い悩んで、死を考えるようになっていくからです。突き詰めて、突き詰めて考えているうちに、死を考えている。そして、いつか一人ぼっちで考えているのです。それは、多くの場合、その人が誰かを求めている「自分」、誰かを必要としている「自分」になっているということなのでしょう。このように考えると、いのちの電話は自殺予防の活動とは言いますが、孤独な人たちのための電話、人が孤独になったときに力になる電話であることがわかります。

一方、いのちの電話の相談員の人たちは、どのような思いで活動をしているのでしょうか。この活動をする人たちは、事前の研修を積んでいます。そして、さらに活動をしつつ学習を積み重ねています。しかし、日々の活動の中で、力になれたのだろうか、とよく思い悩んだりするようです。なぜ、彼らは自分をそのように問うのでしょうか。あるいは時に強い反省心を抱くのでしょうか。それは、人と人とを繋いでいる心がそこにあるからだと思います。独り悩んでいる人に対して、力になりたいと思う気持ちがあり、そして、力になれたのだろうかと思う気持ちが出てくるのでしょうか。生きることに独り困難を抱えている人たちに対して、自分という人間が僅かながらでも役に立てればという気持ちを持っている。それは、人と人とを繋いでいる心が、意図せずともそこに働いているからでしょう。そして、そうした人の心を生かしているのがいのちの電話なのです。

人の繋がりが乏しくなったという、私たちが生活するこの社会のなかであって、人知れずこのような活動をしている人たちがいること、そしてこのような活動を支える団体があることを、私はすばらしいことと思います。

平成24年次香川いのちの電話受信・相談状況

(2012年1月1日～2012年12月31日)

相談総件数……………10,392件(男5,321件 女5,071件)

自殺を訴えた相談件数……………1,085件(男446件 女639件)

相談総件数の10.4%

受信総件数……………14,297件(無言で切れた件含む)

着信(話中)件数……………149,375件(受信したが話し中で繋がらなかった件)

開局からの電話受信・相談状況
(1984年10月6日～2012年12月31日)

受信総件数…392,221件

相談総件数…280,220件

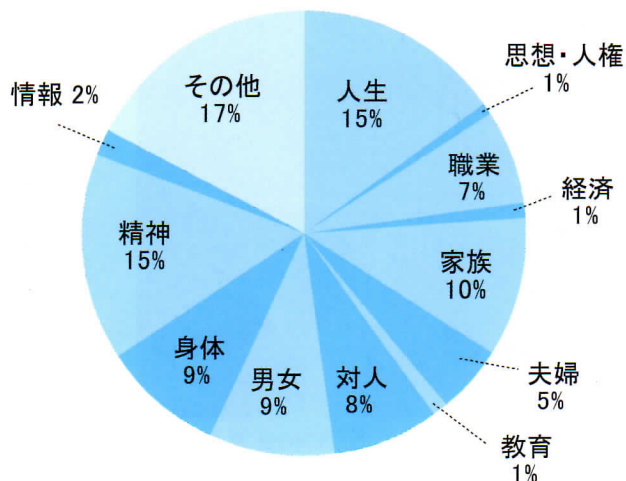
自殺予防いのちの電話 相談総件数……………682件(男341件 女341件)(毎月10日、朝8時から翌8時までの24時間。フリーダイヤル)

東日本大震災「いのちの電話」フリーダイヤル 相談総件数……………437件(男228件 女209件)(毎日13時から20時まで。香川県は月3～4回担当)

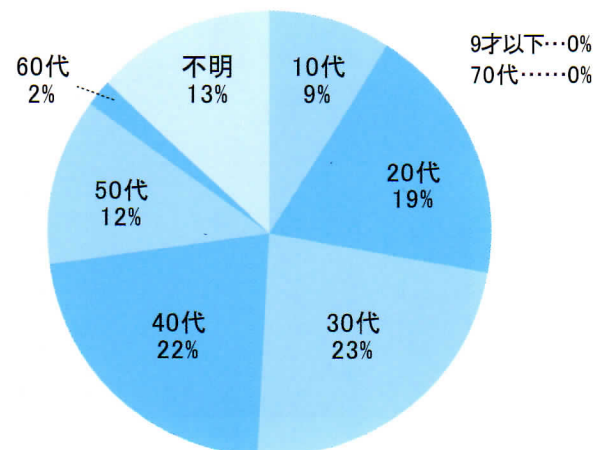
●香川いのちの電話受信状況

相談総件数…10,392件(男6,141件 女5,423件)

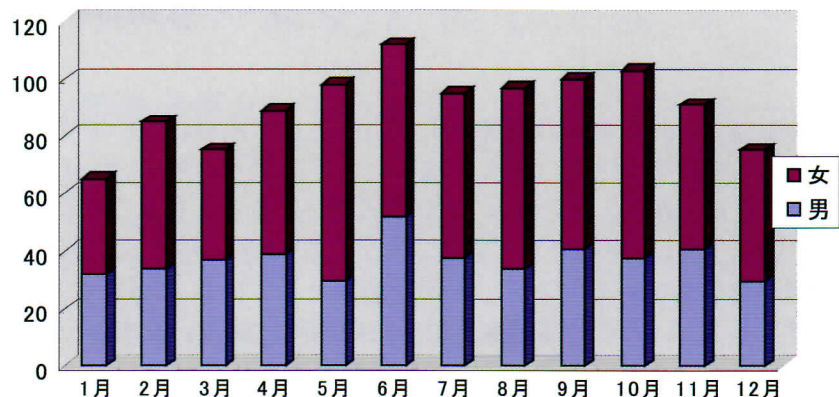
【内容別相談件数】



【年代別相談件数】



【月別自殺志向相談件数】



香川いのちの電話
「思いつめずにいっしょに話そう」

みみをかたむけなやみゼロ
電話相談 **087-833-7830**

むつんでいちばんしみじみ
FAX相談 **087-861-4343**

【毎日24時間】

自殺予防
いのちの電話

☎ **0120-738-556**

毎月10日8:00～翌日8:00
【24時間無料です】

東日本大震災
「いのちの電話」
フリーダイヤル

☎ **0120-556-189**

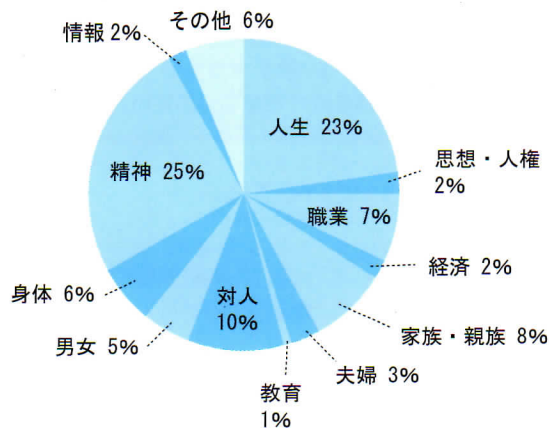
13:00～20:00【毎日】

全国いのちの電話センターで年中無休で対応しています。岩手、宮城、福島、茨城の被災4県から受信します。

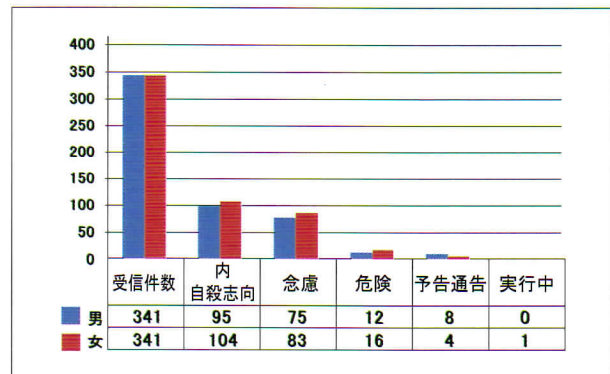
●自殺予防いのちの電話受信状況

相談総件数…682件(男341件 女341件)

【内容別相談件数】



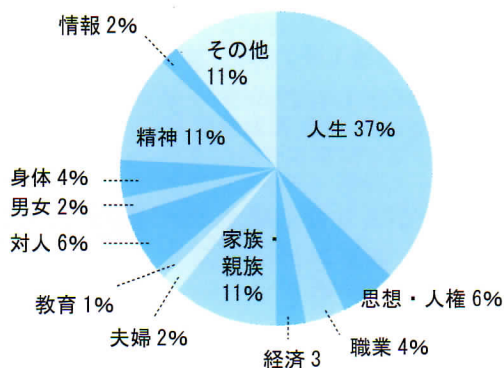
【自殺志向相談件数】



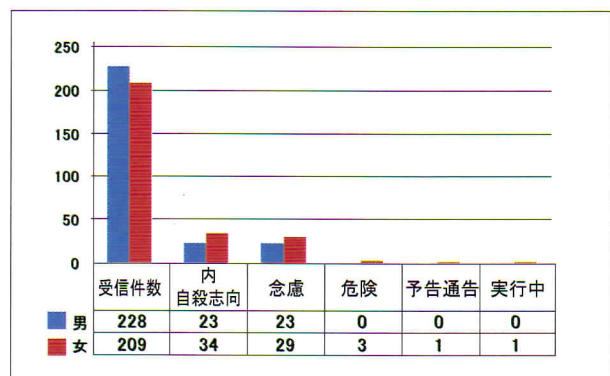
●東日本大震災「いのちの電話」フリーダイヤル受信状況

相談総件数…437件(男228件 女209件)

【内容別相談件数】



【自殺志向相談件数】



東日本大震災の被災4県(宮城県、岩手県、福島県、茨城県)からの電話相談に全国いのちの電話センターで対応。香川県では毎月3~4回担当。

香川いのちの電話公開講座

いのちみつめて(仮) ～生きるということ～

講師 細谷 亮太氏

(ほそや りょうた)

聖路加国際病院
小児総合医療センター長

※手話・要約筆記がつきます



日時 2014年2月8日(土) 13:30 ~
場所 サポートホール高松 3階大ホール
参加費 1000円(当日券1100円)

香川いのちの電話協会

第32期 電話相談員を 募集しています



開講 2013年9月

いのちを大切に生きるための
こころの支え手として
あなたもこのボランティア活動に
参加しませんか

定員 20名

【お問合せ】

香川いのちの電話事務局 087-861-7065



いのちの電話公開講座 報告

「人の話 聞ける人 聞けない人」

講師 徳永 進氏 (野の花診療所所長)

講師プロフィール

とくなが すずむ
2001年、鳥取市内にてホスピスケアのある19床の有床診療所「野の花診療所」を始める。臨床の現場を独特の描写で記した著書多数。



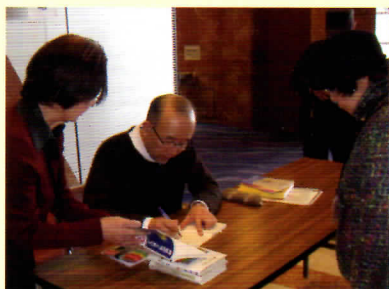
2013年2月9日(土)にサンポートホール高松で、徳永先生による公開講座を開催しました。参加者は1034名で、盛況でした。ご自分の医療活動において出会った方々を通して受取られた、人の命のかけがえのなさ、出会いの大切さをとても上手なハーモニカ演奏を折りまぜながら、ユーモアたっぷりにお話しされました。235人のアンケート結果は、大変良かった124人、良かった88人、普通は12人、期待外れは3人でした。寄せられた感想文から、その内容の一端を紹介させていただきます。

☆生きること、死ぬこと、どちらも尊いことである。これまで、どんなことをしてでも、生きてなければならぬと、死を否定してしまっていたのではないかと。生あるものは、必ず、死をむかえる」ということに対して、素直に向き合えず、傲慢な気持ちを持っていたように思う。「今、ここにある自分」を否定せず、その中で一番ベストを尽くしていくことは大事である。目標とするものは、その人それぞれに異なっていてあたり前なのであるが、ついつい、人の幸せの枠組みを勝手に作ってしまいがちである。徳永先生の話聞き、いのちのかがやきや、崇高な大きなものを感じることができた。

☆先生の話の中で、「家族は親しい他人だ」と言われた時、「なるほどな」と感心しました。みんなそれぞれ、個性や性格が違う、どんなに血がつながっていても心まではコントロールできない。子育てに悩んだ時、どうしてうまくいかないのか？育て方がまちがっていたのではないかとすることがありましたが、自分とは別の人間、仲がよくても、愛情があっても、それぞれ一人一人違う個性、感じ方が違ってあたりまえ。そう思うと、とても気持ちが楽になったように感じました。

☆徳永先生の卓越した話術とユーモア、そしてハーモニカという心に響く音色を余韻に、清々しい時間を過ごすことができました。“死”というと、ともすればタブー視されがちな内容を、自らの経験からあっさりと料理される先生のスタンスにとっても感銘を受けました。

☆死んだ人に、「あなたは、私たち(家族)の誇りだ」と、



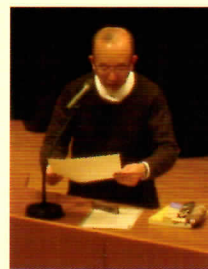
日本人は言えない。漠然と生きている。生きるか死ぬかのみを言うのはつまらない。死が種となってまた生えてくるので、死を認め

る。死は種になっていくこと。

☆人間の死と生について淡々とお話しされ、かと言って中味は濃く、深く、重い内容で引き込まれました。どんな人も、皆、平等であり、自然に受けとめてくれるワールドに入れました。「ありがとうございます」と感謝の念です。胸があつくなり涙を流しながら聴きました。どんな人も受け入れてくれる。こんな私でも生きていていいんだ。と少し勇気もわきました。

☆徳永先生自身の話や診療所における患者さん達とのつながりをとても身近に感じる講演でした。詩やハーモニカをはさみながら、聴いている人達を引き込むような感じがしました。詩は、患者さんや、その周囲の人達の心情がとてもわかりやすく、心のひだが伝わってくるようでした。

☆「死にいく人がより良く死んでいけるように整える。」考えてもみなかったお話の内容に驚くと同時に賛同の気持ちが湧きました。「生きている偶然」ほんとうにそうだなと思いました。より良く生きて、より良く死ぬよう日々努力、準備をしなければと感じました。



☆人間の生と死の織り模様を淡々と語って下さった。みんな自然に受けとめられるという世界に入れてくれた。みんな平等で自由な人間ですね。胸が暖かくなりました。

☆先日母を亡くし、一人になるといろいろ考えてしまいます。そのうち自分も終末を迎えるということ、今日の話を聞いて何となくですが何か考えさせられるものを感じました。自分らしく・・・生き終わられるといいと思います。

☆いのちの電話の活動がよくわかりました。

平成24年度 事業報告 (平成24年4月1日～平成25年3月31日)

●平成24年

- 4月24日(火) 平成24年度第1回班長会
- 5月17日(木) 31期養成講座A開講式・オリエンテーション
- 5月17日(木) 31期養成講座A「いのちの電話を支えるボランティア」小島克己理事長
- 5月23日(水) 平成24年度第2回班長会
- 5月24日(木) 31期養成講座A「子ども時代の重要性」白井 愛氏
- 5月24日(木) 31期養成講座A「人の心はどのようにつくられるか」川田行雄氏
- 5月26日(土) 第157回理事会
- 5月26日(土) 平成24年度第1回評議員会
- 5月31日(木) 日本いのちの電話連盟臨時理事会小島理事長
- 6月1日(金) 日本いのちの電話連盟定期総会 小島理事長
- 6月7日(木) 31期養成講座A「うつ病の理解と支援について①」田中和孝氏
- 6月7日(木) 31期養成講座A「うつ病の理解と支援について②」田中和孝氏
- 6月9日(土) 第1回全体研修「自己と生について考える」村上武志氏
- 6月21日(木) 31期養成講座A「児童虐待」NPO法人子どもの虐待防止ネットワーク・かがわ
- 6月21日(木) 31期養成講座A「中高年(職場)の心の危機」白井 愛氏
- 6月28日(木) 31期養成講座A「カウンセリングとは」黒河内美鈴氏
- 6月28日(木) 31期養成講座A「難しい方について パーソナリティの視点から」黒河内美鈴氏
- 7月7日(土) ～8日(日) 31期養成講座A「一泊研修」研修スタッフ
- 7月14日(土) 相談員ステップアップ研修「相談員の心のケア」豊島佳津子氏
- 7月18日(水) ～20日(金) 日本いのちの電話連盟全国事務局長会議 松尾事務局長
- 7月26日(木) 31期養成講座A「わが国における自殺対策について」鈴江 毅氏
- 7月26日(木) 31期養成講座A「思春期・青年期の心の危機」島津昌代氏
- 8月9日(木) 31期養成講座A「共感する」ということ 村上武志氏
- 8月9日(木) 31期養成講座A「精神障害の人権」中添和代氏
- 8月11日(土) 相談員ステップアップ研修「人間にとって病むとは」=生活習慣病と脳や心との関係= 富岡幸生氏
- 8月18日(土) 第158回理事会
- 8月23日(木) 31期養成講座A「自己理解と他者理解」田中良子氏
- 8月23日(木) 31期養成講座A「調査官から見た家族理解」廣田邦義氏
- 8月24日(金) 平成24年度第3回班長会
- 9月6日(木) 31期養成講座A「電話相談の危機介入」南雲正義氏
- 9月6日(木) 31期養成講座A「嗜癮関連問題」後藤見知子氏
- 9月8日(土) 日本いのちの電話連盟全国事務局長会議 松尾事務局長
- 9月20日(木) 感受性訓練—1 研修スタッフ
- 9月29日(土) 相談員ステップアップ研修「役に立つ心理学」松岡定幸氏
- 10月4日(木) 感受性訓練—2 研修スタッフ
- 10月12日(金) 日本いのちの電話連盟第6回理事会 小島理事長
- 10月18日(木) 感受性訓練—3 研修スタッフ
- 10月20日(土) 相談員ステップアップ研修「最近の子ども達」谷本智子氏
- 10月25日(木) 感受性訓練(RP)—1 研修スタッフ
- 11月8日(木) 感受性訓練(RP)—2 研修スタッフ
- 11月17日(土) 第159回理事会
- 11月24日(土) 第2回全体研修会=フリーダイアル研修=「危機介入ロールプレイ」平田眞貴子氏
- 11月19日(月) 平成24年度第4回班長会
- 11月29日(木) 感受性訓練(RP)—3 研修スタッフ
- 12月1日(土) 相談員ステップアップ研修「精神障害者の支援」河崎敦子氏
- 12月6日(木) 電話相談の実際—1 研修スタッフ
- 12月20日(木) 電話相談の実際—2 研修スタッフ
- 12月21日(金) 平成24年度第5回班長会
- 12月27日(木) 電話相談の実際—3 研修スタッフ



四国学院大学
村上武志氏



高松大学 田中良子氏



講座風景



公開講座 徳永進氏

●平成25年

- 1月11日(金) 第160回理事会
- 1月12日(土) 相談員ステップアップ研修「震災被災者 こころの支援について考える」(現地での活動をとおして) 村上 治氏
- 1月17日(木) 修了式・オリエンテーション
- 1月18日(金) 平成24年度第6回班長会
- 2月9日(土) 公開講座「人の話 聞ける人 聞けない人」徳永 進氏
- 3月2日(土) 相談員ステップアップ研修「自殺をめぐる誤解と偏見」島津昌代氏
- 3月8日(金) 日本いのちの電話連盟第7回理事会 小島理事長
- 3月22日(金) 31期養成講座認定委員会
- 3月30日(土) 第161回理事会
- 3月30日(土) 平成24年度第2回評議員会

資金収支計算書

(自) 平成 24 年 4 月 1 日 (至) 平成 25 年 3 月 31 日 (平成 24 年度)

(単位: 円)

勘定科目		予算	決算	差異
経常活動による収支	会費収入	1,920,000	1,957,500	▲ 37,500
	事業収入	70,000	71,203	▲ 1,203
	負担金収入	1,220,000	1,216,400	3,600
	経常経費補助金収入	2,822,000	2,822,000	0
	香川県ボランティアセンター補助金収入	400,000	400,000	0
	香川県共同募金会補助金収入	500,000	500,000	0
	地域自殺対策緊急強化基金補助金収入	1,922,000	1,922,000	0
	寄附金収入	1,600,000	1,825,642	▲ 225,642
	雑収入	50,000	47,980	2,020
	受取利息配当金収入	1,000	682	318
	経常収入計 (1)	7,683,000	7,941,407	▲ 258,407
	人件費支出	1,851,000	1,803,483	47,517
	事務費支出	1,338,000	1,216,391	121,609
	事業費支出	4,494,000	3,502,772	991,228
	経常支出計 (2)	7,683,000	6,522,646	1,160,354
	経常活動資金収支差額 (3) = (1) - (2)	0	1,418,761	▲ 1,418,761
当期資金収支差額合計		0	1,418,761	▲ 1,418,761
前期末支払資金残高 (4)		0	3,561,010	▲ 3,561,010
当期末支払資金残高 (3) + (4)		0	4,979,771	▲ 4,979,771

貸借対照表

平成 25 年 3 月 31 日現在

(単位: 円)

資 産 の 部				負 債 の 部			
科 目	当年度末	前年度末	増減	科 目	当年度末	前年度末	増減
流動資産	5,130,971	3,988,815	1,142,156	流動負債	151,200	427,805	▲ 276,605
現金預金	5,130,971	948,815	4,182,156	未払金	151,200	379,069	▲ 227,869
現金	7,469	36,419	▲ 28,950	預り金	0	46,736	▲ 46,736
普通預金 百十四銀行	4,417,636	736,848	3,680,788	前受金	0	2,000	▲ 2,000
普通預金 香川銀行	233,015	38,315	194,700	固定負債	0	0	0
普通預金 郵便貯金	86,411	81,511	4,900	負債の部合計	151,200	427,805	▲ 276,605
普通預金 高松信用金庫	386,440	55,722	330,718	純 資 産 の 部			
未収金	0	3,040,000	▲ 3,040,000	基本金	29,490,268	29,490,268	0
固定資産	33,402,958	34,375,277	▲ 972,319	基本金	29,490,268	29,490,268	0
基本財産	33,348,713	34,283,978	▲ 935,265	基本金 1	29,490,268	29,490,268	0
建物	16,348,713	17,283,978	▲ 935,265	国庫補助金等特別積立金	5,326,977	5,815,456	▲ 488,479
土地	17,000,000	17,000,000	0	国庫補助金等特別積立金	5,326,977	5,815,456	▲ 488,479
その他の固定資産	54,245	91,299	▲ 37,054	国庫補助金等特別積立金 (整備時分)	5,326,977	5,815,456	▲ 488,479
器具及び備品	54,245	91,299	▲ 37,054	その他の積立金	0	0	0
資産の部合計	38,533,929	38,364,092	169,837	次期繰越活動収支差額	3,565,484	2,630,563	934,921
				次期繰越活動収支差額	3,565,484	2,630,563	934,921
				(うち当期活動収支差額)	934,921	2,877,747	▲ 1,942,826
				純資産の部合計	38,382,729	37,936,287	446,442
				負債及び純資産の部合計	38,533,929	38,364,092	169,837

脚注 1. 減価償却費の累計額

6,905,735

財産目録

平成 25 年 3 月 31 日現在 (平成 24 年度)

(単位: 円)

資 産 ・ 負 債 の 明 細		金 額
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金		
現金		現金手許有高 7,469
普通預金 百十四銀行本店 香川銀行本店 郵便貯金 高松信用金庫		5,123,502
流 動 資 産 合 計		5,130,971
2 固定資産		
(1) 基本財産		
建物		16,348,713
土地		17,000,000
基 本 財 産 合 計		33,348,713
(2) その他の固定資産		
器具及び備品		54,245
そ の 他 の 固 定 資 産 合 計		54,245
固 定 資 産 合 計		33,402,958
資 産 合 計		38,533,929
II 負債の部		
1 流動負債		
未払金		151,200
流 動 負 債 合 計		151,200
負 債 合 計		151,200
差 引 純 資 産		38,382,729

以上、平成24年度の社会福祉法人 香川いのちの電話協会の事業報告書、財産目録貸借対照表および収支計算書については、関連する法令および通知に従った監査の結果、事業の運営および会計上、適法・正確に処理されているものと認めます。

監事

川 染 節 江
土 居 忠 行

支援者を訪ねて

17

木村内科呼吸器科医院
院長 木村 公一 氏



—香川いのちの電話にご支援いただき有難うございます。いのちの電話との関わりはどういうことからでしょうか。

開業医の仲間の勉強会のメンバーである富岡先生からお話を伺ったことがきっかけです。富岡先生とは、日赤病院時代に机を並べて一緒にいました。この時は、小笠原先生もおられて、お二人とも社会的な事柄にも関心を持っておられて、感心していました。

—いのちの電話の活動等について、どんなお考えをお持ちでしたか。私たちは、休務中の人を除いて153人ばかりの相談員が、1回につき3時間から4時間、月2回担当し、24時間態勢で相談を受けております。

大変、大切な働きをなさっていると思っています。いのちに関わる活動は大切です。どんな人たちが相談電話されているのですか。

—最近では、男性、女性ともほぼ同じ割合になっています。精神的疾患や保健医療に関する相談が増えています。

私のところにも、精神的問題をかかえている患者さまが時々、来られます。その時は、精神科の先生に行くよう勧めています。ところで、いのちの電話の運営面はどうなっているのですか。

—相談員は皆、ボランティアですが、人数が多いこともあって、事務所の運営費、新しい相談員の養成費や研修費等で、年間、800万円近くかかります。その内で、約3割は公的補助金を受けていますが、残りは相談員や後援会員の寄付金などで賄っています。

運営費がそんなにかかり、その大半が民間や相談員によって支えられているとは知りませんでした。もっと国や自治体から支援してもらったらいですね。それと、一般の方々は、そんな実態についてほとんど知らないと思います。もっと、PRして運営費の協力を受けるようにしたらいいと思います。

—私たちもさらに積極的にPRに努力していきたいと思います。

これからも、ご理解、ご支援の程よろしくお願い致します。

(広報担当：田中・日比野)

18

高松中央ロータリークラブ
ロータリーアン
岡田 新 氏



—ご支援ありがとうございます。香川いのちの電話とのかかわりについて…

富岡先生（香川いのちの電話後援会会長）から山下内科三橋康彦先生にご依頼があり、こちらには三橋先生からご依頼がありましたので“理事会で相談して支援をさせて頂きました。

—ロータリークラブの活動についてお聞きます。

ロータリークラブでは、2つの標語があります。1つは、「超我の奉仕」で、これは自分を超越しての奉仕、即ち自分のことは置いて社会のために奉仕するという精神です。

2つ目は、「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」と云う考え方が基本精神となっています。

高松中央ロータリークラブは、結成されて28年目になりますが、週に一度 ロータリーアン同志の親睦活動をしていてこれをクラブ奉仕としています。

更に、早明浦ダム上流での植林、下草刈り等の社会奉仕、ポリオ撲滅運動にも協力して国際奉仕へと広めていっております。

—香川いのちの電話に対して、望まれることは……。

いのちの電話のことはテレビなどで見ているだけで、あまり詳しくはありませんが本当に大変で大切なお仕事だと思っています。このような活動は社会的に大変有難いことと思います。

いのちの電話相談を頑張ってもらいたいと思うと同時にこのいのちの電話の存在が無くなる社会になって欲しいとも思っています。

そのためには教育が大事ではないかと思っています。それには長い年月がかかることでしょうね。

—本日は、お忙しいところ有難うございました。これからもご支援よろしくお願い致します。

(広報担当：今滝・千代)

§ ～ご芳志に心から感謝します～ §

平成24年4月～平成25年3月

団体

大野内科（高知県四万十市）
小川陶芸教室 小川 佳都代
香川銀行本店
カトリック・スペイン外国宣教会
（株）兼子
（有）絆
幸寿荘
こじまクリニック
財務委員会
三和電業グループ社員共済会
事業委員会
シコク環境ビジネス（株）
生協 コープかがわ
聖マルチン病院
高松市医師会
高松市社会福祉協議会

高松信用金庫
東洋ローアクリスト伝道教会
（株）トーカイ
とみおか内科クリニック
西高松脳外科・内科
（株）二蝶
日本基督教団高松教会
ビクター祈り岩歌謡教室
百十四銀行
フラン 木村 幸子
（株）豆芳
みくに園
（有）ユービル企画
路上の杖
25 期生

リサイクル協力企業・団体

NPOあじさいの会
内山治療院
大高酵素
かすが市場
カトリック桜町教会
こじまクリニック
小島食器
桜町聖母幼稚園
四国通建 KK ネットワーク部
自販機北山
（株）シフトエンタープライズ
（株）京セラミタ
高松信用金庫一の宮支店
とみおか内科クリニック
どんぐりころころ（農村レストラン）
ハードテック

パラマウントケアサービス
ひまわり（多機能ホーム）
平本店 キリン
平本店 天狗
平本店 とんぼ
フォルティス菊池
ブックス三条
ベット&マットレス
NPO まごころ丸亀
まついし接骨院
真鍋医院
ミタニ藤田病院
（株）緑建
牟礼地区民生委員
NPO屋島やすらぎ
わき外科クリニック

個人

青峰 定子	植野智恵美	梶 由美	桑崎 隆敏	高橋 道也	西野 信子	細谷 正高	宮脇恵美子
阿部由紀子	上野 博	桂 美鈴	小島 克己	多田美枝子	新田真知子	真柴 禮子	宮脇美也子
天本 正子	浦井 栄子	亀山 玲子	小島 順子	多田美佐江	橋本 美香	増井 武彦	三好 昇
網 千代美	浦野 秀男	唐渡 弘	近藤 温子	田中 茂	蓮井 孝夫	増田 芳子	三好美也子
安藤 千代	漆原 美紀	河崎 敦子	近藤小夜子	田中 暉彦	畠山 美峰	松尾ミキ子	室崎 若子
石川久美子	大須賀 誠	川田 行雄	斎藤美智子	田中 良子	畠山 恭子	松崎ミツ子	保井 正明
石田 昭栄	大高 節子	河村 弘子	斎中 佳子	玉川 蓮恵	濱野 瞭子	松村 俊典	安岡恵美子
石田 紀子	大西 千世	カンバラ・	坂井 厚子	千代 姿子	濱 好美	松本 直子	安本志津香
石本 恭子	大西由美子	デシデリオ	酒井 恵子	津郷 千恵	林 幸子	松本 由子	矢野坂春子
出野 雅実	大林ミサエ	神原 俊康	佐々木昌幸	筒井 建策	日比野玲子	眞鍋 夏海	矢野真知子
井上ヒロミ	大眉 博	北尾登史郎	佐野 博美	寺岡恭仁子	平野多江子	眞鍋 宣子	山崎 敏秋
井上 泰好	岡市 育子	木下 千可	島津 昌代	土居 忠行	廣田 邦義	丸尾 文子	山地カツ子
今岡 直美	岡崎 久美	木村 綾子	嶋本 和子	長尾 綾野	藤井富美子	水ト 則之	山地 真人
今瀧 敏光	岡田 トシ	木村 一雄	清水 昭	中園 陽子	藤川 澄子	水ト 令子	山本 侃
今瀧 則男	岡本久美子	木村 幸二	清水 和美	中西 貢	藤川美佐子	三野紀美子	行成 輝見
入屋 光恵	岡 百合子	響見 圭子	常慶 守助	中村 薫	藤野 典保	三橋 朝子	芳野 紀子
岩崎すゑ子	小国 清子	窪田 恵子	正箱 節子	中村 嘉子	二川 幹生	三宅 正瞭	吉村 崇彦
岩崎 廣明	奥平 剛	熊田 寿子	新土百合子	南雲 正義	古澤 光子	三宅 正子	鷺辺 和江
岩部 昭	小畑 年子	鞍井 孝	鈴木 洋子	奈良 正史	宝智 久子	宮武 則明	匿 名
上野清次郎	梶 正治	黒河内美鈴	高木 春美	西井 弘生	細谷 富子	宮武 宏	

※敬称を省略しています

「いのちの電話」はあなたのご支援を必要としています

いのちの電話の活動は、多くの善意あるボランティアの無償の奉仕によって支えられています。眠らぬダイヤルの施設維持費、相談員研修費、広報活動など、年間1千万円の資金が必要となっています。ボランティア活動である「いのちの電話」は、それを支える財政的基盤は大半が市民の、あるいは企業や諸団体からの寄付で支えられています。ひとりでも多くの方に資金ボランティアとして関わってくださいますよう、お願い申し上げます。

【後援会費】

- ・ 個人会費……年頭①2万円 ②1万円 ③5千円 ④2千円
- ・ 団体会員……年頭①10万円 ②5万円 ③3万円 ④1万円

【寄付金】 金額はご随意です。クリスマス、歳末など折にふれてご協力下さい。

＜振込先＞

社会福祉法人香川いのちの電話協会
理事長 小島 克己

《お振込みは下記のいずれかをご利用下さい》

- ・ 香川銀行本店（普）1389129
- ・ 高松信用金庫本店営業部（普）4821464
- ・ 百十四銀行本店（普）1473589
- ・ 郵便振替1600-5-9348

宮武則明プロフィール（2006.6より写真提供者）

高松市円座町在住。元讃岐写真作家の会所属。現在「ギャラリーMON」（朝日町）において定期的に作品展を行っている。写真集「讃岐の町並」讃岐写真作家の会著ほか9冊発刊。「香川の歳時記365日」四国新聞に写真提供。現在も活躍中。

発行所 社会福祉法人 香川いのちの電話協会
〒760-8691 高松市中央郵便局 私書箱 152 号
事務局 電話（087）861-7065
発行人 小島 克己 編集 広報委員会